

「音楽すること」が生み出すもの —— 記憶からのアプローチ ——

登壇者・基調講演テーマ

登壇者発表順

小泉 恭子 (大妻女子大学 音楽社会学)

社会に耳をすます — 記憶の音風景

能登原 由美 (「ヒロシマと音楽」委員会 音楽学・西洋音楽史)

「ヒロシマ」を歌うのは誰なのか？

— 音楽と記憶、その主体 —

中村 美亜 (九州大学 芸術社会学)

音楽表現を通じた記憶の再編とエンパワメント

2018年 2月 11日 (日) 13:00 ~ 17:00

事前申し込み不要・参加費無料

立命館大学衣笠キャンパス 諒友館 829号教室

主催：「音楽と社会」研究会
後援：立命館大学 先端総合学術研究科

連絡先：ritsongakuba@gmail.com
プログラム詳細：www.r-gscefs.jp/?p=7842